

健康科学科

大澤 功

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 健康な生活を送るために(平成27年度版) 【高校生用】	共	2015年4月	文部科学省	勝野眞吾(委員長), 采女智津江, 大澤 功, 酒井 智, 高橋浩之, 西岡伸紀(編集)	
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. The factors that affect exercise therapy for patients with type 2 diabetes in Japan : a nationwide survey.	共著	2015年3月	Diabetol Int. 6巻1 号	Arakawa S, Watanabe T, Sone H, Tamura Y, Kobayashi M, Kawamori R, Atsumi Y, Oshida Y, Tanaka S, Suzuki S, Makita S, Ohsawa I, Sato Y	pp.19-25
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 検査結果異常者への対応-検査結果が 「異常」なら「病気」と判断して良いか?-	単著	2015年3月	第64回全国学校保健研 究大会報告書		pp.57-60
2. 女子大学生のライフイベント意識調査.	共著	2015年3月	CAMPUS HEALTH. 52巻1号	糠谷敬子, 外ノ池隆史, 森山恭子, 宇野智子, 北村洋子, 後藤真紀, 岩瀬 明, 玉腰浩司, 大澤 功	p.475
3. 科学的視点に立った学校保健活動.	単著	2015年9月	東海学校保健研究. 39 巻1号		p.1
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. ストレスの考え方と評価法.	講義	2014年10月	平成26年度健康運動指 導士養成講習会, 大阪	大澤 功	
2. 健康管理の重要性-健康管理面から見た 事故防止策-	講義	2014年10月	愛知県トラック協会プ ロドライバー研修, み よし	大澤 功	
3. ストレスの考え方と評価法.	講義	2014年11月	平成26年度健康運動指 導士養成講習会, 名古 屋	大澤 功	
4. 検査結果異常者への対応-検査結果が 「異常」なら「病気」と判断してよいか?-	講演	2014年11月	第64回全国学校保健研 究大会, 金沢	大澤 功	
5. 養護教諭, 保健室⑦	一般 演題 座長	2014年11月	第61回日本学校保健学 会学術集会, 金沢	大澤 功	
6. 学校管理下において児童生徒が入院とな る負傷と運動との関わりについて-運動種 目別にみた入院リスクの検討-	学会 発表	2014年11月	第61回日本学校保健学 会学術集会, 金沢	下村淳子, 森田一三, 中垣晴男, 大澤 功, 佐藤祐造	

7.大学生へのリプロダクティブヘルス教育の有用性～女子大学生における生殖についての意識調査～	学会発表	2014年11月	第61回日本学校保健学会学術集会, 金沢	糠谷敬子, 後藤真紀, 外ノ池隆史, 森山恭子, 宇野智子, 北村洋子, 岩瀬 明, 大澤 功	
8.医師が診るもの, 社会が診るもの.	特別講演座長	2015年 2月	日本健康活動相談学会第11回学術集会, 名古屋	大澤 功	
9.養護教諭が行う健康相談とその対応プロセス.	コメンテーター	2015年 2月	日本健康活動相談学会第11回学術集会, 名古屋	大澤 功	
10. 大学生における月経異常と血清 AMH 値についての検討.	学会発表	2015年 4月	第67回日本産科婦人科学会学術講演会, 横浜	後藤真紀, 加藤奈緒, 石田千晴, 森 正彦, 大須賀智子, 近藤美佳, 中村智子, 中原辰夫, 外ノ池隆史, 岩瀬 明, 大澤 功, 吉川史隆	
11. ストレスの考え方と評価法.	講義	2015年 5月	平成27年度健康運動指導士養成講習会, 大阪	大澤 功	
12. 薬物療法(インスリン療法2)	ポスター発表座長	2015年 5月	第58回日本糖尿病学会年次学術集会, 下関	大澤 功	
13. 平成27年度糖尿病対策推進会議地区担当者連絡会議	司会	2014年 5月	第58回日本糖尿病学会年次学術集会, 下関	大澤 功, 野田光彦	
14. 大学生へのリプロダクティブ教育～意識調査と教育効果についての検討～.	学会発表	2015年 5月	日本不妊カウンセリング学会第14回学術集会, 東京	糠谷敬子, 後藤真紀, 森山恭子, 外ノ池隆史, 宇野智子, 岩瀬 明, 大澤 功	
15.	年次学会長	2015年 9月	第58回東海学校保健学会, 名古屋	大澤 功	
16. 女子大学生のリプロダクティブヘルス～ライフイベント意識調査～.	学会発表	2015年 9月	第58回東海学校保健学会, 名古屋	糠谷敬子, 後藤真紀, 外ノ池隆史, 岩瀬 明, 大澤 功	
17. ピア・サポートプログラムが男子高校生の学校適応感に及ぼす影響－学校環境適応感尺度(ASSESS)による効果検証－.	学会発表	2015年 9月	第58回東海学校保健学会, 名古屋	近藤充代, 大澤 功	
18. 社会人経験のある看護学生が学生生活を続けていく上で困難だと感じている要因の検討.	学会発表	2015年 9月	第58回東海学校保健学会, 名古屋	鈴木 孝, 田口恵美子, 渡邊智之, 大澤 功	
19. 学校現場における救急対応	特別講演座長	2015年 9月	第58回東海学校保健学会, 名古屋	大澤 功	
20. 健康管理の重要性－健康管理面から見た事故防止策－.	講義	2015年 9月	安全管理者研修, みよし	大澤 功	
21. 事故防止のための健康管理.	講義	2015年10月	物流安全管理士講座, みよし	大澤 功	

城戸裕子

A (著 書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
第28回社会福祉士国試対策 専門科目編2016	共著	2015年 4月	福祉教育カレッジ編集 医学評論社	城戸裕子他	pp.153-188
2015社会福祉士全国統一模擬試験 解説書	共著	2015年10月	福祉教育カレッジ編集 医学評論社	城戸裕子他	pp.180-205

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
養護教諭養成課程の看護の位置づけと実習の在り方	学会発表	2014年11月	日本学校保健学会 (石川県金沢市)	城戸裕子	
終末期における医療の在り方	講演	2014年12月	かすがい熟年大学 (春日井市)	城戸裕子	
専門職間連携を基盤とした地域生活支援の提供に向けた連携の在り方-地域で暮らす障害者・高齢者に焦点をあてて-	学会発表	2014年11月	日本社会福祉学会 (東京都 早稲田大学)	城戸裕子, 中島健一, 小佐々典靖	
東北福祉大学 東京サテライト 講義 介護概論	講師	2014年12月	東北福祉大学 四谷キャンパス	城戸裕子	
고령자, 장애인 의 람직한 제도 의 골조 에 대한 한 고찰	学会発表	2015年4月	한국 사회 복지 학회 (韓国社会福祉学会招聘) 한 릇 대학 (韓国・ハンリム大学)	城戸裕子, 中島健一, 小佐々典靖	
フィールドワークから学生が学ぶ災害救急医療～東日本大震災の現場からの学び～	学会発表	2015年9月	東海学校保健学会 (愛知県 愛知学院大学)	城戸裕子	
学生と現場で考える東日本大震災の現状と課題 - 震災ボランティアの体験を通しての学び -	学会発表	2015年9月	日本社会福祉学会 (福岡県 久留米大学)	城戸裕子	
看護実習で学びを引き出す看護実習要項の在り方 ~養護教諭養成課程における看護実習の効果的な学びを目指して~	学会発表	2015年10月	日本養護教諭養成教育学会 (熊本県 くまもと森都心プラザ)	城戸裕子	

齊藤 満

A (著書)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
運動と自律神経 運動による自律神経の変化	単著	2015年10月	文光堂, 自律神経機能検査 第5版	日本自律神経学会 編	pp.69-73
B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 高強度運動時の心拍同期性筋交感神経活動反応の検討	共著	2014年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 10号	齊藤 満, 片山敬章, 石田浩司	pp.1-7
2. 筋交感神経活動に及ぼす間欠的最大握力トレーニングの効果	共著	2015年3月	心身科学 7巻 1号	Tesshin Hachiya, Andrew P Blaber, and Mitsuru Saito	pp.9-19
1. Sympathetic vasomotor outflow and blood pressure increases during exercise with expiratory resistance	共著	2015年4月	Physiol Rep 3(5) e12421, doi:10.1481/phy2.12421	Katayama K, Itoh Y, Saito M, Koike T and Ishida K	pp.1-11
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1. 楽しく、安全にマラソン挑戦	講演	2014年11月	名古屋市 瑞穂運動場	齊藤 満	
2. 健康ランニング入門	講義と実技	2015年 1月10日 1月23日 2月7日	平成25年度 愛知県口論義公園, 愛知学院大学 ~協働事業~ 愛知学院大学および口論義運動公園	齊藤 満	

3. 実践相談	講演	2015年3月	名古屋市 緑スポーツセンター	齊藤 満	
4.若さを保つ運動の進め方	講演と実技	2015年6月	名古屋市 東スポーツセンター	齊藤 満	
5. Expiratory resistive loading increases in sympathetic vasomotor outflow and BP during dynamic leg exercise	学会発表	2015年5月	62nd ACSM Annual Meeting and 5th World Congress on Exercise, California, USA	Keisho Katayama, Yuka Itoh, Mitsturu Saito, Teruhiko Koike, Koji Ishida.	
6. 1)特殊環境における運動時の循環調節および 2)中高齢者、疾患の予防・改善と循環	座長	2015年9月	呼吸研究会, 運動と循環研究会合同研究会, 和歌山県民文化会館	齊藤 満, 林 直亨	
7. 神経・感覚 セッション	座長	2015年9月	第70回日本体力医学会大会 和歌山県民文化会館	齊藤 満	
8. 運動時の呼息筋活動の増加が循環応答へ及ぼす影響	学会発表	2015年9月	第70回日本体力医学会大会 和歌山県民文化会館	片山敬章, 伊藤佑華, 齊藤 満, 小池晃彦, 石田浩司	

下村淳子

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.健康相談	単	2014年12月	診断と治療社, 養護教諭のための発達障害児の学校生活を支える教育・保健マニュアル		pp.50-53
2.友人とのトラブル	単	2014年12月	診断と治療社, 養護教諭のための発達障害児の学校生活を支える教育・保健マニュアル		pp.54-57
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.現地調査における保健室来室児童生徒への養護教諭の対応に関する研究Ⅰ-小学校と中学校との比較から-	共著	2015年5月	日本健康相談活動学会誌第10巻第1号	林 典子, 下村淳子, 戸田須恵子, 井澤昌子	pp.79-89
2.養護教諭が児童生徒に行うタッチに関する研究-触れる頻度に影響する要因-	共著	2015年9月	東海学校保健研究第39巻第1号	井澤昌子, 下村淳子, 林 典子, 戸田須恵子	pp.59-66
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
学会長挨拶	単著	2015年2月	日本健康相談活動学会第11回学術集会抄録集		pp.1
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.	ポスター発表 座長	2014年10月	日本養護教諭教育学会第22回学術集会, 千葉		

2. The influence of parental pshysical affection during childhood and student's touch resistance	学会発表	2014年10月	the 2014 SRCD Special Topic Meeting: Positive Youth Development (PYD), Prague, Czech	Toda S, Hayashi N, Izawa M, Shimomura J	
3.学校管理下において児童生徒が入院となる負傷と運動との関わりについて	学会発表	2014年11月	第61回日本学校保健学会, 金沢	下村淳子, 森田一三, 中垣晴男, 大沢 功, 佐藤祐造	
4.養護教諭の保健室来室児童生徒への対応における「来室理由」と「タッチ」との関係	学会発表	2014年11月	第61回日本学校保健学会, 金沢	林 典子, 戸田須恵子, 下村淳子, 井澤昌子	
5.	口演座長	2014年11月	第61回日本学校保健学会, 金沢		
6.養護教諭の行う健康相談－今,あらためて普段の実践を見直す－	講師	2014年12月	平成26年度愛知県立新規採用養護教諭研修会, 東郷町		
7.	学会長	2015年2月	日本健康相談活動学会第11回学術集会, 名古屋		
8.健康相談において「観る」「触れる」ことの意義－養護教諭としての実践と研究成果をもとに－	学会長基調講演	2015年2月	日本健康相談活動学会第11回学術集会, 名古屋		
9.児童生徒の実態から健康課題を捉えるために－保健主事・養護教諭に必要な統計手法－	講師	2015年7月	平成27年度授業力・教師力アップセミナー【基礎編】(学校保健), 岡崎		
10.組織マネジメントと保健室経営	講師	2015年8月	平成27年度愛知県立学校養護教諭10年経験者研修, 名古屋		
11.	学会実行委員長	2015年9月	第58回東海学校保健学会, 名古屋		
12.Fieldwork study of the Yogo teacher's responsiveness to students in a school health room － A comparison of elementary and junior high school	学会発表	2015年9月	the 17th Conference of the European Association of Developmental Psychology (17ECDP), Braga, Portugal	Toda S, Hayashi N, Shimomura J	

水藤弘吏

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 競泳コーチ教本 第3版	共著	2014年10月	大修館書店	公益財団法人日本水泳連盟	pp.19-24
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Relationship between 100 m race times and start, stroke, turn, finish phases at the freestyle Japanese swimmers.	共著	2015年6月, 7月	Proceedings of The 33rd International Conference on Biomechanics in Sports	Hiroshi Suito, Hiroyuki Nunome, Yasuo Ikegami	pp.178-181

2.競泳のキックスタートパフォーマンスと等尺性・等速性脚筋力との関係	共著	2015年7月	水泳水中運動科学, 18 (1)	水藤弘史, 尾関一将, 布目寛幸, 池上康男	pp.4-9
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.なぎなたの繰り返し動作について	共著	2015年1月	スポーツ医・科学研究 MIE, 22	水藤弘史, 杉田正明, 中島由美子	pp.9-12
2.なぎなた選手の体力特性について~3年 間の変化から~	共著	2015年1月	スポーツ医・科学研究 MIE, 22	杉田正明, 中島由美子, 水藤弘史, 八木規夫	pp.13-17
3.第91回日本選手権水泳競技大会 競泳レ ース分析表	共著	2015年5月	公益財団法人日本水泳 連盟科学委員会	公益財団法人日本水泳 連盟科学委員会	pp.1-404
4.ジャパンオープン2015(50m) 競泳(決 勝)レース分析表	共著	2015年8月	公益財団法人日本水泳 連盟科学委員会	公益財団法人日本水泳 連盟科学委員会	pp.1-97
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.クロール泳における3次元動作分析~ 長 距離種目日本男子トップ選手に着目して ~	学会 発表	2014年11月	日本水泳水中運動学会 2014年次大会/愛知	佐藤大典, 高橋繁浩, 草薙健太, 水藤弘史	
2. Relationship between 100 m race times and start, stroke, turn, finish phases at the freestyle japanese swimmers.	学会 発表	2015年6 月, 7月	33rd International Conference on Biomechanics in Sports, Poitiers / France	Hiroshi Suito, Hiroyuki Nunome, Yasuo Ikegami	
3.クロール泳における最大努力泳と最大下 泳時の下肢動作に着目して	学会 発表	2015年8月	日本体育学会第66回大 会/東京	佐藤大典, 水藤弘史, 草薙健太, 高橋繁浩	

辰巳 寛

B (論 文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.超皮質性感覚失語における喚語機能に関 する縦断的研究一名詞・動詞の能力乖離に ついて	共	2015年3月	心身科学 7・1	木村 航, 辰巳 寛, 山本正彦, 黒崎芳子	pp.1-8
2.口腔ケアによる口腔状態の改善効果に関 する研究	共	2015年3月	心身科学 7・1	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 辰巳 寛, 山本正彦	pp.85-89
3. Japanese Adaptation of the Stroke and Aphasia Quality of Life Scale - 39 (SAQOL - 39): Comparative Study among Different Types of Aphasia	共	2015年8月	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 24・8	Akane Kamiya, Kentaro Kamiya, Hiroshi Tatsumi, Makihiko Suzuki, Satoshi Horiguchi	pp.2561 - 2564
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 遠行機能障害と リハビリテーション	講演 会	2015年3月	社会医療法人杏嶺会 一宮西病院リハビリテ ーション科教育研修会	辰巳 寛	
2.メロディック・イントネーション・セ ラピー Melodic Intonation Therapy (MIT) の理論と実際	講演 会	2015年3月	愛知県言語聴覚士会成 人研修会(愛知淑徳大 学)	辰巳 寛	
3.	代表 世話 人	2015年5月	第4回摂食機能障害リ ハビリカンファレンス (愛知学院大学)	辰巳 寛	

4.視床下核脳深部刺激術 STN - DBS における構音運動の変化 第2報	学会発表	2015年6月	第10回愛知県言語聴覚士協会学術集会(ウイंक愛知)	田中康博, 辰巳 寛, 渡辺宏久, 榊田道人, 伊藤瑞規, 熱田直樹, 千田 譲, 中村亮一, 渡辺はづき, 坪井 崇, 原 一洋, 梶田泰一, 祖父江 元	
5.左前頭葉内側部病変による全失語からの回復過程において反復性発話と著明な保続を呈した1例	学会発表	2015年6月	第10回愛知県言語聴覚士協会学術集会(ウイंक愛知)	佐藤克俊, 辰巳 寛, 宮嶋真理	
6.	座長	2015年6月	第10回愛知県言語聴覚士協会学術集会(ウイंक愛知)	辰巳 寛	
7.意味性認知症例における言語症状	学会発表	2015年6月	第10回愛知県言語聴覚士協会学術集会(ウイंक愛知)	田中康博, 辰巳 寛, 渡辺宏久, 榊田道人, 伊藤瑞規, 熱田直樹, 千田 譲, 中村亮一, 渡辺はづき, 坪井 崇, 原 一洋, 梶田泰一, 祖父江 元	
8.呼称課題で色彩の有無が正答率に影響を及ぼしたPCAの1例	学会発表	2015年6月	第10回愛知県言語聴覚士協会学術集会(ウイंक愛知)	大嶽れい子, 辰巳 寛, 田中康博, 渡辺宏久, 榊田道人, 伊藤瑞規, 熱田直樹, 千田 譲, 中村亮一, 渡辺はづき, 坪井 崇, 原 一洋, 梶田泰一, 祖父江 元	
9.進行性非流暢性失語を呈した一症例の言語症状の経過について	学会発表	2015年6月	第3回岐阜県言語聴覚士会総会・学術集会(岐阜県岐阜市ふれあい福寿会館)	甘利秋月, 阿部 忍, 辰巳 寛, 長縄敏毅, 長縄伸幸	
10.回復期病棟における失語症者の転帰と言語症状の特徴について	学会発表	2015年6月	第16回日本言語聴覚学会大会(仙台)	浜田広幸, 永井健太, 辰巳 寛, 山本正彦	
11.胃瘻からの経管栄養開始後も嚥下訓練を継続し,経口摂取量が増加した一例	学会発表	2015年6月	第16回日本言語聴覚学会大会(仙台)	中村万里子, 木村 航, 岩槻 厚, 牧野日和, 辰巳 寛	
12.高齢者介護施設におけるアソブロックの臨床使用経験-要介護高齢者の反応のコミュニケーションスタッフの主観的評価-	学会発表	2015年6月	第16回日本言語聴覚学会大会(仙台)	森 玲子, 辰巳 寛	
13.小脳性病変にて失語症状が発現した一例	研究会	2015年7月	第8回あいちST合同リハビリカンファレンス	松下尚子, 辰巳 寛	
14.左頭頂葉領域の脳腫瘍によりジストニア様症状を呈した1例-職場復帰を目標とした治療の検討-	学会発表	2015年8月	第4回失語・高次脳機能障害症例検討会(三重大学医学部附属病院)	宮本まどか, 辰巳 寛	
15.急性期脳卒中患者における摂食・嚥下機能障害の予後要因の検討 ~第1報~	学会発表	2015年9月	第21回日本嚥下摂食リハビリテーション学会学術大会(東京)	宇佐美康子, 杉浦美樹, 奥村一仁, 尾崎式美, 辰巳 寛, 関 行雄, 安井敬三	
16.重度摂食嚥下障害患者の在宅復帰を通して医療と介護の包括的ケアの重要性を再認識した一例	学会発表	2015年9月	第21回日本嚥下摂食リハビリテーション学会学術大会(東京)	甘利秋月, 阿部 忍, 辰巳 寛, 長縄敏毅, 長縄伸幸	
17.「胃瘻」が経口摂取継続に有効であった一症例	学会発表	2015年9月	第21回日本嚥下摂食リハビリテーション学会学術大会(東京)	鈴木靖紀, 森島大輔, 辰巳 寛	

玉川達雄

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
一般演題発表(D会場, 11:00-11:30)	司会	2015年9月	第58回東海学校保健学会, 名古屋	玉川達雄	
中学校における熱中症予防に関する研究	学会発表	2015年9月	第59回東海学校保健学会, 名古屋	北村米子, 玉川達雄	
小学校5, 6年生とその保護者がつけたい体力とその規定要因の検討	学会発表	2015年9月	第60回東海学校保健学会, 名古屋	松原紀子, 玉川達雄	
アルコール・薬物・熱中症等への対策	講習会	2015年6月	平成27年度「第1回学生のための安全管理講習会」	玉川達雄	
メタボで長生き -科学的根拠に基づいて-	講演会	2015年10月	愛知学院大学秋季公開講座	玉川達雄	

外ノ池隆史

B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
愛知学院大学日進キャンパスにおける受動喫煙防止支援～7年間の取り組みとその成果～〔査読付〕	共	2014年	東海公衆衛生雑誌2(1) (pp.89-93)	糠谷敬子, 森山恭子, 北村洋子, 宇野智子, 外ノ池隆史	
うつ病治療の危機について-日本の現状とこれから-	単	2014年	愛知学院大学心身科学部紀要10(pp.9-20)	外ノ池隆史	
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
大学生へのリプロダクティブ教育～意識調査と教育効果についての検討～	学会発表	2015年5月	日本不妊カウンセリング学会第14回学術集会	糠谷敬子, 後藤真紀, 森山恭子, 外ノ池隆史, 宇野智子, 岩瀬 明, 大澤 功	
女子大学生のリプロダクティブヘルス～ライフイベント意識調査～	学会発表	2015年9月	第58回東海学校保健学会	糠谷敬子, 後藤真紀, 外ノ池隆史, 岩瀬 明, 大澤 功	
「精神科医療との効率的な連携」	ラン チョ ンセ ミナ ー	2015年3月	日本健康相談活動学会 第11回学術集会 ラン チョンセミナー		
学業・部活・バイト どれも一生懸命	講演	2015年7月	第53回全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会		

内藤正和

B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
小学生の食育推進のための健康教育方法の検討	共著	2015年3月	愛知学院大学心身科学研究紀要心身科学第7巻1号	酒井映子, 森岡亜有, 内藤正和, 北川千加良, 末田香里	pp.75-84
C (翻訳・資料)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
刈谷キラキラ教室アンケート調査報告書	単著	2015年10月			

スポーツ政策における諸アクターとの協働について	単著	2015年6月	東海体育学会会報 No.88		pp.2-3
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
スポーツイベントにおけるインターンシップの教育的効果とそのデザインについてーアイシンシーホース三河ホームゲームにおける運営サポート	学会発表	2014年11月	日本スポーツマネジメント学会第7回大会(広島経済大学)	内藤正和	
企業スポーツチームにおける社会貢献活動の効果に関する研究	学会発表	2014年12月	日本体育・スポーツ政策学会第24回大会(東京学芸大学)	内藤正和	
目標設定・課題解決・計画	講義	2015年2月	第45回愛知学院大学リーダーシップトレーニング	内藤正和, 西 舘司, 岡谷良二	
地域のスポーツ振興について	研究発表	2015年5月	スポーツ経営・マネジメント研究会(愛知工業大学)	内藤正和	
刈谷キラキラ教室アンケート調査結果報告	講演	2015年10月	第13回刈谷市ホームタウンパートナー連絡会	内藤正和	

長崎 大

B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
Combination of bofutsushosan (Kampo medicine) and voluntary exercise improves insulin sensitivity in Otsuka Long - Evans Tokushima fatty rats	共	2015年9月	Traditional & Kampo Medicine	Ryohei Kobayashi1, Daizo Saito, Masaru Nagasaki, Tomoko Uno and Yuzo Sato	pp.1-8
糖尿病運動療法研究の進歩：理論と実臨床	共	2015年10月	日本体質医学会雑誌, 77巻3号	佐藤祐造, 森 圭子, 宇野智子, 長崎 大, 仲森隆子, 渡邊智之	pp.1-9
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
健康筋肉づくり教室、運動療法の実際、健康寿命を延ばすための6つの知恵、“カラダとこころと栄養”のグッド・バランスが鍵！	運動指導	2014年11月	平成26年度なごや健康カレッジ, 名古屋市	長崎 大, 田村佑季, 長尾将太郎, 山下春香	
これだけは伝えたい、スポーツ科学コースの「教育」	学科紹介	2015年7月	夏のオープンキャンパス	長崎 大	
これだけは伝えたい、スポーツ科学コースの「教育」	学科紹介	2015年8月	夏のオープンキャンパス	長崎 大	
保健体育の授業力	模擬授業	2015年9月	愛知高校生のためのオープンキャンパス	長崎 大, 田村佑季, 梅村広基	
生活習慣病の運動療法：季節変動ことに冬季の運動実践 ＜日本体質医学会・日本体力医学会合同シンポジウム企画＞ 生活習慣病(体質)の予防・治療に果たす身体運動(体力)の役割	学会発表	2015年9月	第70回日本体力医学会大会, 和歌山	長崎 大	

西田 保

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
文化的自己観が競技者アイデンティティに与える影響: 日本・中国の女性競技者の国際比較	共著	2014年12月	体育学研究, 59巻2号	萩原悟一, 西田 保, Gangyan Si, 磯貝浩久	pp.549 - 558
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
マインドフルネス	単著	2014年12月	健康への道 No.117		p.2
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. ゴルフ心理学	講義	2014年12月	2014年度PGA入会セミナー, 東京	西田 保	
2. ゴルフ心理学	講義	2015年1月	2015年PGAティーチングプロB級講習会, 東京	西田 保	
3. スポーツ動機づけ研究を振り返って	講演	2015年3月	2014年度第3回コロキウム, 名古屋	西田 保	
4.	主催, 世話 人	2015年5月	第13回スポーツ動機づけ研究会, 東京	西田 保	
5. 私の動機づけ研究	研究 報告	2015年5月	第13回スポーツ動機づけ研究会, 東京	西田 保	
6. 日本記録への挑戦	司会	2015年5月	第13回スポーツ動機づけ研究会, 東京	西田 保	
7. 社会的一体感と動機づけ関連変数との相関分析	学会 発表	2015年8月	日本体育学会第66回大会, 東京	西田 保	

早川統子

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
口唇口蓋裂Q & A	共著	2015年7月	医歯薬出版株式会社	夏目長門, 早川統子 (他30名)	p.89, p.95, pp.102 - 103, pp.113 - 114, p.173
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 認知症と日常生活動作の自発性および舌苔との関連 第二報: 姿勢運動との関連調査	共著	2016年1月	「日本口腔ケア学会雑誌」10巻1号	牧野日和, 井村英人, 早川統子, 古川博雄, 瀬戸千尋, 年盛満恵, 山本正彦, 夏目長門	pp.156 - 160
2. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究. 第5報 終助詞表現が発話者の印象に及ぼす影響に関する予備調査: 健常音声における発話者印象 -	共著	2015年6月	愛知学院大学歯学会誌, 53(2)	相原喜子, 早川統子, 夏目長門	pp.77 - 83
3. PERCEPTION OF CLEFT PALATE SPEECH BY NAIVE LISTENERS - Speech Intelligibility Test and Variations in Speech Speed -	共著	2015年12月	The Aichi Gakuin Journal of Dental Science, 28巻	HIYORI MAKINO, TOKO HAYAKAWA, NAGATO NATSUME	pp.1 - 10

4.口腔ケアによる口腔状態の改善効果に関する研究 第4報 専門的口腔ケアの効果について	共著	2014年12月	愛知学院大学心身科学研究紀要「心身科学」7巻1号	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 辰巳 寛, 山本正彦	pp.85-88
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
Velo - Cardio - Facial 症候群 (VCFS) 患者の言語訓練での傾向と Telepractice 実施の結果	学会発表	2014年11月	第26回一般社団法人日本小児口腔外科学会学術大会, 栃木	早川統子, 井村英人, 夏目長門	
VCFS 患者の言語治療に関する報告 第6報 一口腔領域先天異常と合併症との関連一	学会発表	2015年3月	第24回日本有病者歯科医療学会学術大会, 旭川	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 夏目長門 他13名	
Pilot study: speech therapy applying ventriloquism	学会発表	2015年4月	American Cleft Palate Craniofacial Association's 72nd Annual Meeting and Symposium, Palm Springs, CA, USA	Toko Hayakawa, Chisako Inoue, Tomoko Mori, Yoshiko Aihara, Kyoko Banno, Hiyori Makino, Satoshi Suzuki, Nagato Natsume	
口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 第9報: 終助詞表現の発話者印象への影響要因	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 坂野恭子, 牧野日和, 佐久間千里, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 片山和男, 夏目長門	
VCFS 患者の言語治療に関する研究 第7報 合併症と言語症状の関連	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 鈴木 聡, 森 明弘, 井村英人, 大野磨弥, 佐久間千里, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 夏目長門	
腹話術法を応用した構音訓練の実用に向けた研究 第2報 予備調査: 発話明瞭度と会話明瞭度	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 鈴木 聡, 古川博雄, 夏目長門	
言語聴覚士を目指す学生の口蓋裂言語治療に対する意識調査 第1報 将来の希望進路から	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 新美照幸, 南 克浩, 井村英人, 片山和男, 夏目長門	
能力開発と口蓋裂言語治療を組み合わせた早期言語訓練システム 第4報 母親心理のアンケート	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	早川統子, 夏目長門, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 古川博雄, 新美照幸, 南 克浩, 井村英人, 片山和男	
口唇・口蓋裂児と両親に対する計量心理学的研究 第10報: 出生前診断の告知における母親の心理	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 坂野恭子, 牧野日和, 江尻昇啓, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 片山和男, 夏目長門	

口唇口蓋裂児に対する離乳食指導の実際	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	森 智子, 井上知佐子, 早川統子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 井村英人, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 夏目長門	
言語聴覚士による聴覚判定と各種検査の判定結果との一致に関する研究 第1報	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	坂野恭子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 伊藤美智恵, 牧野日和, 新美照幸, 井村英人, 齋藤直樹, 大野磨弥, 森 明弘, 佐久間千里, 秋山芳夫, 麻生昌邦, 古川博雄, 夏目長門	
愛知学院大学附属病院言語治療外来部門における発達検査・知能検査の実施状況に関する報告	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	坂野恭子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 牧野日和, 外山佳孝, 長瀬好和, 松川良平, 江尻昇啓, 秋山芳夫, 麻生昌邦, 南 克浩, 古川博雄, 井村英人, 佐久間千里, 夏目長門	
モンゴル国における医療協力と学術調査報告 第3報: モンゴル国名誉領事館設立	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	夏目長門, 吉田和加, 古川博雄, 早川統子 他9名	
軟口蓋裂未手術症例の長期経過-第2報 言語評価について-	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	森 智子, 井村英人, 井上知佐子, 早川統子, 古川博雄 他8名	
愛知学院大学歯学部附属病院言語治療外来部門における口蓋裂言語訓練への取り組み	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	夏目長門, 早川統子, 井上知佐子, 古川博雄 他6名	
粘膜下口蓋裂症例の臨床的研究 -第3報 言語評価について-	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	森 智子, 井村英人, 井上知佐子, 早川統子, 古川博雄 他12名	
口唇・口蓋裂患者に関する疫学的研究 第58報: 東海地区における2013年の本症出生調査報告	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	夏目長門, 井村英人, 早川統子, 古川博雄 他9名	
口唇口蓋裂に関する遺伝子研究 第3報: 2014年遺伝子バンキングシステム成果報告	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	夏目長門, 吉田和加, 古川博雄, 早川統子 他12名	
スピーチエイド装着により鼻咽腔閉鎖機能不全の改善を認めた粘膜下口蓋裂の1例	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	新美照幸, 森 智子, 齋藤直樹, 早川統子, 井上知佐子, 井村英人, 夏目長門	
BCLA を伴った一卵性双生児の長期経過報告	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	井村英人, 増田浩男, 森田幸子, 南 克浩, 早川統子, 夏目長門	
口唇口蓋裂児に対する離乳食指導の実際	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	森 智子, 井上知佐子, 早川統子, 牧野日和, 古川博雄 他6名	
スピーチエイドの作成と工夫	学会 発表	2015年 5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術大会, 東京	井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 早川統子 他6名	

Van der Woude 症候群に関する基礎的臨床的研究 - 第4報 披裂の関係を中心とした分析 -	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	大野磨弥, 新美照幸, 古川博雄, 南 克浩, 井村英人, 早川統子, 森 明弘, 太田 亨, 夏目長門	
Robin Sequence の疫学的研究 第1報 口唇口蓋裂症例中の罹患率	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	中原晋一, 古川博雄, 新美照幸, 早川統子 他6名	
口唇裂を伴う Noonan 症候群の1例	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	森 明弘, 井村英人, 大野磨弥, 新美照幸, 古川博雄, 南 克浩, 早川統子, 鈴木 聡, 夏目長門	
Velo - Cardio - Facial 症候群 (VCFS) 患者の言語治療に関する臨床研究 第8報 永久歯の先天性欠如実態調査	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	森 明弘, 早川統子, 古川博雄 他7名	
能力開発と口蓋裂言語治療を 組み合わせた早期言語訓練システム - 母親心理のアンケート -	学会発表	2015年6月	第86回学術大会 愛知学院大学歯学会, 名古屋	早川統子, 夏目長門, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 山内楓子, 牧野日和, 新美照幸, 南 克浩, 井村英人, 大野磨弥, 中原晋一, 佐久間千里, 江尻晃啓, 古川博雄	
能力開発と口蓋裂言語治療を組み合わせた早期言語訓練システムの実態 - 家族の満足度 -	学会発表	2015年6月	日本口腔外科学会 第40回 中部支部学術集会, 岡崎	早川統子, 夏目長門	
VCFS 患者の言語治療に関する報告 第9報 - 口腔領域先天異常・言語症状と全身疾患との関連 -	学会発表	2015年7月	第55回日本先天異常学会学術集会, 横浜	早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 山本正彦, 古川博雄, その他11名	
口唇口蓋裂患者とその家族に対する遺伝カウンセリングの現状 第5報 出生前カウンセリングについて	学会発表	2015年7月	第55回日本先天異常学会学術集会, 横浜	井村英人, 夏目長門, 山本正彦, 鈴木 聡, 藤原久美子, 大野磨弥, 佐久間千里, 早川統子	
東海地区における先天異常モニタリング調査 -2013報告-	学会発表	2015年7月	第55回日本先天異常学会学術集会, 横浜	井村英人, 夏目長門, 鈴木 聡, 早川統子, 佐久間千里, 大野磨弥, 森 明弘, 山内楓子, 古川博雄, 中原晋一, 新美照幸, 吉田和加, 藤原久美子	
SPEECH OUTCOME OF TELEPRACTICE FOR INDIVIDUAL WITH VELOCARDIO - FACIAL SYNDROME	学会発表	2015年9月	9th Congress of International Cleft Lip and Palate Foundation, Moscow, Russia	Toko Hayakawa, Hideto Imura, Satoshi Suzuki, Yoshiyuki Ikemori, Shinichi Nakahara, Nagato Natsume	

古川博雄

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
口唇口蓋裂Q & A140	単著	2015年7月	医歯薬出版株式会社	夏目長門 編著	pp.18-20 pp.29-30
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.口唇口蓋裂患者におけるアイソカル・ジュニアの使用経験について	共著	2014年12月	愛知学院大学歯学会誌. 52巻4号	大野磨弥, 新美照幸, 井村英人, 古川博雄, 南 克浩, 藤原久美子, 森 明弘, 夏目長門	pp.448-453
2.口腔ケアによる口腔状態の改善効果に関する研究(第4報) 専門的口腔ケアの効果について	共著	2015年3月	心身科学. 7巻1号	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 辰巳 寛, 山本正彦	pp.85-89
3.口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究(第5報) 終助詞表現が発話者の印象に及ぼす影響に関する予備調査 健常音声における発話者印象	共著	2015年6月	愛知学院大学歯学会誌. 53巻2号	相原喜子, 早川統子, 大野磨弥, 松川 良平, 佐久間千里, 森田有美子, 井上知佐子, 坂野恭子, 牧野日和, 井村英人, 麻生昌邦, 秋山芳夫, 古川博雄, 新美照幸, 片山和男, 千野直仁, 夏目長門	pp.77-83
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.先天異常をもつ家庭へのコンバインドシステムに関する研究(第3報) 小児医療協力におけるマイクロクレジットの効果	学会 発表	2014年11月	第26回(一社)日本小児 口腔外科学会総会・学 術大会, 宇都宮	夏目長門, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 外山佳孝, 石川 拓, 早川統子, 大野磨弥	
2.愛知学院大学言語治療外来部門におけるVCFS患者の言語治療に関する報告(第5報) 合併症と言語症状	学会 発表	2014年12月	愛知学院大学歯学会・ 第85回学術大会, 名古屋	早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 牧野日和, 坂野 恭子, 新美照幸, 南 克浩, 井村英人, 加藤大貴, 大野磨弥, 森 明弘, 中原晋一, 佐久間千里, 山内楓子, 古川博雄, 夏目長門	
3.口腔ケアによる口腔状態の改善効果に関する研究(第5報) 細菌カウンタと口腔水分計ムーカスでみる専門的口腔ケアの効果	学会 発表	2015年3月	愛知学院大学心身科学 研究所報告会, 日進	牧野日和, 早川統子, 辰巳 寛, 古川博雄, 山本正彦	
4.モンゴル国における医療協力と学術調査報告(第3報) モンゴル国名誉領事館設立	学会 発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	夏目長門, 吉田和加, 永田映里佳, 越路千佳子, 麻野和宏, 土肥 豊, 泉 さや香, 古川博雄, 鈴木 聡, 加藤大貴, 早川統子, 今井 裕, 香月 武	
5.我々の片側性口唇裂の初期治療	学会 発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	夏目長門, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 大野磨弥, 森 明弘, 佐久間千里, 山内楓子, 江尻晃啓	

6.軟口蓋裂未手術症例の長期経過(第2報) 言語評価について	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会,東京	森 智子,井村英人,井上知佐子,早川統子,相原喜子,坂野恭子,松川良平,大野磨弥,佐久間千里,外山佳孝,新美照幸,古川博雄,夏目長門	
7.口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究(第9報) 終助詞表現の発話者印象への影響要因	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会,東京	相原喜子,早川統子,井上知佐子,森 智子,坂野恭子,牧野日和,佐久間千里,井村英人,新美照幸,古川博雄,片山和男,夏目長門	
8.愛知学院大学歯学部附属病院言語治療外来部門における口蓋裂言語訓練への取り組み	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会,東京	夏目長門,早川統子,井上知佐子,森 智子,相原喜子,坂野恭子,古川博雄,新美照幸,南 克浩,井村英人	
9. VCFS 患者の言語治療に関する研究(第7報) 合併症と言語症状の関連	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会,東京	早川統子,井上知佐子,森 智子,相原喜子,坂野恭子,牧野日和,鈴木 聡,森 明弘,井村英人,大野磨弥,佐久間千里,新美照幸,南 克浩,古川博雄,夏目長門	
10. 腹話術技法を応用した構音訓練の実用に向けた研究(第2報) 予備調査 発語明瞭度と会話明瞭度	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会,東京	早川統子,井上知佐子,森 智子,相原喜子,坂野恭子,牧野日和,鈴木 聡,古川博雄,夏目長門	
11. 粘膜下口蓋裂の臨床的研究(第2報) 保存的治療の効果	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会,東京	井村英人,新美照幸,古川博雄,森 知子,早川統子,夏目長門	
12. 粘膜下口蓋裂症例の臨床的研究(第3報) 言語評価について	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会,東京	森 智子,井村英人,井上知佐子,早川統子,相原喜子,坂野恭子,江尻晃啓,松川良平,大野磨弥,佐久間千里,外山佳孝,新美照幸,南 克浩,秋山芳夫,麻生昌邦,古川博雄,夏目長門	
13. 能力開発と口蓋裂言語治療を組み合わせた早期言語訓練システム(第4報) 母親心理のアンケート	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会,東京	早川統子,夏目長門,井上知佐子,森 智子,相原喜子,坂野恭子,牧野日和,古川博雄,新美照幸,南 克浩,井村英人,片山和男	
14. 言語聴覚士を目指す学生の口蓋裂言語治療に対する意識調査(第1報) 将来の希望進路から	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会,東京	早川統子,牧野日和,古川博雄,新美照幸,南 克浩,井村英人,片山和男,夏目長門	
15. 我々の両側性口唇口蓋裂における初回手術時の工夫	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会,東京	井村英人,夏目長門,古川博雄,新美照幸,大野磨弥,森 明弘,佐久間千里	

16. 口唇・口蓋裂患者に関する疫学的研究(第58報) 東海地区における2013年の本症出生調査報告	学会 発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	夏目長門, 井村英人, 早川統子, 吉田和加, 加藤大貴, 鈴木 聡, 古川博雄, 南 克浩, 新美照幸, 大野磨弥, 佐久間千里, 山内楓子, 森 明弘	
17. 口唇口蓋裂に関する遺伝子研究(第3報) 2014年遺伝子バンキングシステム成果報告	学会 発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	夏目長門, 吉田和加, 古川博雄, 新美照幸, 南 克浩, 井村英人, 鈴木 聡, 早川統子, 加藤大貴, 大野磨弥, 森 明弘, 越路千佳子, 後藤尊広, 砂川 元, 新崎 章, 森 悦秀	
18. エチオピア連邦民主共和国における先天異常に関する研究(第1報) 口唇口蓋裂治療の実態	学会 発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	古川博雄, 井村英人, 大野磨弥, 山内楓子, 西原一秀, 中村典史, 新崎 章, 夏目長門	
19. 口唇・口蓋裂児と両親に対する計量心理学的研究(第10報) 出生前診断の告知における母親の心理	学会 発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 坂野恭子, 牧野日和, 江尻晃啓, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 片山和男, 夏目長門	
20. 愛知学院大学口唇口蓋裂センターにおける口唇口蓋裂治療 よりよい外鼻・歯槽形態獲得への取り組み	学会 発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	古川博雄, 加藤大貴, 井村英人, 新美照幸, 佐久間知里, 森 明弘, 大野磨弥, 松川良平, 森田幸子, 中原晋一, 鈴木 聡, 南 克浩, 八木真里奈, 夏目長門	
21. 口唇口蓋裂児に対する離乳食指導の実際	学会 発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	森 智子, 井上知佐子, 早川統子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 井村英人, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 夏目長門	
22. 言語聴覚士による聴覚判定と各種検査の判定結果との一致に関する研究(第1報)	学会 発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	坂野恭子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 伊藤美智恵, 牧野日和, 新美照幸, 井村英人, 齋藤直樹, 大野磨弥, 森 明弘, 佐久間千里, 秋山芳夫, 麻生昌邦, 古川博雄, 夏目長門	
23. 愛知学院大学附属病院言語治療外来部門における発達検査・知能検査の実施状況に関する報告	学会 発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	坂野恭子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 牧野日和, 外山佳孝, 長瀬好和, 松川良平, 江尻晃啓, 秋山芳夫, 麻生昌邦, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 井村英人, 佐久間千里, 夏目長門	

24. スピーチエイドの作成と工夫	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 増田浩男, 早川統子, 森田幸子, 佐久間千里, 中原晋一, 江尻晃啓, 夏目長門	
25. 愛知学院大学口唇口蓋裂センターにおける上顎前方牽引の効果(第2報) 乳歯列期より開始した症例の骨格変化	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	森田幸子, 井村英人, 増田浩男, 新美照幸, 古川博雄, 大野磨弥, 森 明弘, 佐久間千里, 夏目長門	
26. 我々の突出した Premaxilla へのアプローチ(第1報) 両側性口唇口蓋裂2症例	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	井村英人, 増田浩男, 森田幸子, 新美照幸, 古川博雄, 夏目長門	
27. 粘膜下口蓋裂に関する臨床的研究(第1報) 罹患率	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	江尻晃啓, 井村英人, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 外山佳孝, 夏目長門	
28. Van der Woude 症候群に関する基礎的臨床的研究(第4報) 披裂の関係を中心とした分析	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	大野磨弥, 新美照幸, 古川博雄, 南 克浩, 井村英人, 早川統子, 森 明弘, 太田 亨, 夏目長門	
29. 鼻孔レティナの終了時期並びに手順に関する検討	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	新美照幸, 古川博雄, 井村英人, 鈴木 聡, 大野磨弥, 佐久間千里, 森 明弘, 江尻晃啓, 夏目長門	
30. Robin Sequence の疫学的研究(第1報) 口唇口蓋裂症例中の罹患率	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	中原晋一, 古川博雄, 新美照幸, 井村英人, 加藤大貴, 大野磨弥, 鈴木 聡, 早川統子, 森 明弘, 夏目長門	
31. 口唇裂を伴う Noonan 症候群の1例	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	森 明弘, 井村英人, 大野磨弥, 新美照幸, 古川博雄, 南 克浩, 早川統子, 鈴木 聡, 夏目長門	
32. Velo - Cardio - Facial 症候群(VCFS) 患者の言語治療に関する臨床研究(第8報) 永久歯の先天性欠如実態調査	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	森 明弘, 早川統子, 井村英人, 大野磨弥, 新美照幸, 古川博雄, 南 克浩, 鈴木 聡, 佐久間千里, 夏目長門	
33. エチオピア連邦共和国における口唇口蓋裂医療援助活動	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	西原一秀, 岐部俊郎, 松永和秀, 石畑清秀, 瀨上貴央, 高橋尚樹, 古川博雄, 中村典史, 夏目長門, 新崎 章	
34. 歯科衛生士国家試験における先天異常に関する出題傾向	学会 発表	2015年 5 月	第39回日本口蓋裂学会 総会・学術集会, 東京	八木真里奈, 古川博雄, 井村英人, 新美照幸, 森田幸子, 大野磨弥, 相原喜子, 佐久間千里, 中原晋一, 山内 楓子, 夏目長門	

35. 歯科医師国家試験における先天異常の出題傾向	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京	新美照幸, 江尻晃啓, 古川博雄, 井村英人, 南 克浩, 松川良平, 大野磨弥, 森 明弘, 佐久間千里, 山内楓子, 中原晋一, 夏目長門	
36. 口唇口蓋裂に関する遺伝子研究(第4報) 遺伝子資料のバンキングについて	学会発表	2015年6月	愛知学院大学歯学会・第86回学術大会, 名古屋	夏目長門, 井村英人, 早川統子, 吉田和加, 加藤大貴, 鈴木 聡, 古川博雄, 南 克浩, 新美照幸, 大野磨弥, 佐久間千里, 山内楓子, 森 明弘	
37. 能力開発と口蓋裂言語治療を組み合わせた早期言語訓練システム 母親心理のアンケート	学会発表	2015年6月	愛知学院大学歯学会・第86回学術大会, 名古屋	早川統子, 夏目長門, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 山内楓子, 牧野日和, 新美照幸, 南 克浩, 井村英人, 大野磨弥, 中原晋一, 佐久間千里, 江尻晃啓, 古川博雄	
38. 下顎舌側歯肉部に埋入した部分床義歯の1例	学会発表	2015年6月	愛知学院大学歯学会・第86回学術大会, 名古屋	大野磨弥, 新美照幸, 森 明弘, 井村英人, 古川博雄, 夏目長門	

牧野日和

A (著 書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第1回	単著	2015年4月	中央法規出版, おはよう21 6月号		pp.6-7
2.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第2回	単著	2015年5月	中央法規出版, おはよう21 7月号		pp.6-7
3.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第3回	単著	2015年6月	中央法規出版, おはよう21 8月号		pp.6-7
4.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第4回	単著	2015年7月	中央法規出版, おはよう21 9月号		pp.6-7
5.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第5回	単著	2015年8月	中央法規出版, おはよう21 10月号		pp.6-7
6.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第6回	単著	2015年9月	中央法規出版, おはよう21 11月号		pp.6-7
7.加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ 第7回	単著	2015年10月	中央法規出版, おはよう21 12月号		pp.6-7
8.口唇口蓋裂Q & A	共著	2015年7月	医歯薬出版株式会社 (pp.88-96-97)	夏目長門, 牧野日和 (他30名)	pp.88 pp.96-97

B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.認知症と日常生活動作の自発性および舌苔との関連 第二報：姿勢運動との関連調査(査読付)	共著	2015年1月	「日本口腔ケア学会雑誌」10巻1号	牧野日和, 井村英人, 早川統子, 古川博雄, 瀬戸千尋, 年盛満恵, 山本正彦, 夏目長門	pp.123-127
2.口腔ケアによる口腔状態の改善効果に関する研究 第4報 専門的口腔ケアの効果について	共著	2015年12月	愛知学院大学心身科学研究所紀要「心身科学」7巻1号	牧野日和, 早川統子, 古川博雄, 辰巳寛, 山本正彦	pp.85-88
3. PERCEPTION OF CLEFT PALATE SPEECH BY NAIVE LISTENERS - Speech Intelligibility Test and Variations in Speech Speed -	共著	2015年12月	The Aichi Gakuin Journal of Dental Science, 28巻	HIYORI MAKINO, TOKO HAYAKAWA, NAGATO NATSUME	pp.1-10
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1. VCFS 患者の言語治療に関する報告 第6報 一口腔領域先天異常と合併症との関連一	学会発表	2015年3月	第24回日本有病者歯科医療学会学術大会, 旭川	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 夏目長門 他13名	
2. Pilot study: speech therapy applying ventriloquism	学会発表	2015年4月	American Cleft Palate Craniofacial Association's 72nd Annual Meeting and Symposium, Palm Springs, CA, USA	Toko Hayakawa, Chisako Inoue, Tomoko Mori, Yoshiko Aihara, Kyoko Banno, Hiyori Makino, Satoshi Suzuki, Nagato Natsume	
3.口唇口蓋裂児に対する離乳食指導の実際	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	森 智子, 井上知佐子, 早川統子, 牧野日和, 古川博雄 他6名	
4.口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 第9報: 終助詞表現の発話者印象への影響要因	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 坂野恭子, 牧野日和, 佐久間千里, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 片山和男, 夏目長門	
5. VCFS 患者の言語治療に関する研究 第7報 合併症と言語症状の関連	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 鈴木 聡, 森 明弘, 井村英人, 大野磨弥, 佐久間千里, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 夏目長門	
6.腹話術法を応用した構音訓練の実用に向けた研究 第2報 予備調査: 発話明瞭度と会話明瞭度	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 鈴木 聡, 古川博雄, 夏目長門	
7.言語聴覚士を目指す学生の口蓋裂言語治療に対する意識調査 第1報 将来の希望進路から	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	早川統子, 牧野日和, 古川博雄, 新美照幸, 南 克浩, 井村英人, 片山和男, 夏目長門	

8.能力開発と口蓋裂言語治療を組み合わせた早期言語訓練システム 第4報 母親心理のアンケート	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	早川統子, 夏目長門, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 古川博雄, 新美照幸, 南 克浩, 井村英人, 片山和男	
9.口唇・口蓋裂児と両親に対する計量心理学的研究 第10報: 出生前診断の告知における母親の心理	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 坂野恭子, 牧野日和, 江尻昇啓, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 片山和男, 夏目長門	
10. 口唇口蓋裂児に対する離乳食指導の実際	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	森 智子, 井上知佐子, 早川統子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 井村英人, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 夏目長門	
11. 言語聴覚士による聴覚判定と各種検査の判定結果との一致に関する研究 第1報	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	坂野恭子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 伊藤美智恵, 牧野日和, 新美照幸, 井村英人, 齋藤直樹, 大野磨弥, 森 明弘, 佐久間千里, 秋山芳夫, 麻生昌邦, 古川博雄, 夏目長門	
12. 愛知学院大学附属病院言語治療外来部門における発達検査・知能検査の実施状況に関する報告	学会発表	2015年5月	第39回日本口蓋裂学会総会・学術大会, 東京	坂野恭子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 牧野日和, 外山佳孝, 長瀬好和, 松川良平, 江尻昇啓, 秋山芳夫, 麻生昌邦, 南 克浩, 古川博雄, 井村英人, 佐久間千里, 夏目長門	
13. 死んでもいいから焼き肉が食べたいHさんへの支援 「リスクマネジメント」から「クオリティマネジメント」	学会発表	2015年5月	第6回日本訪問リハビリテーション協会学術大会, 大阪	牧野日和	
14. 継続的な嚥下訓練により経口摂取量の増加を認めた一例	学会発表	2015年6月	第16回日本言語聴覚学会総会・学術大会, 仙台	中村万里子, 木村 航, 岩槻 厚, 牧野日和, 辰巳 寛	
15. 摂食嚥下障害領域の養成教育に関する研究 愛知学院大学学生への意識調査, 講義や実習がもたらす影響	学会発表	2015年6月	第16回日本言語聴覚学会総会・学術大会, 仙台	牧野日和, 早川統子, 瀬戸千尋, 小林季実子, 種田千里, 山本正彦	
16. VCFS 患者の言語治療に関する報告 第9報 一口腔領域先天異常・言語症状と全身疾患との関連-	学会発表	2015年7月	第55回日本先天異常学会学術集会, 横浜	早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 坂野恭子, 牧野日和, 山本正彦, 古川博雄, その他11名	
17. 「口から食べる」を支えるケア	講演	2014年10月	名古屋市千種保健所, 名古屋	牧野日和	
18. 「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2014年11月	全国高齢者施設看護師会, 札幌	牧野日和	
19. 「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2014年11月	全国高齢者施設看護師会, 大阪	牧野日和	
20. 最期まで口から食べるを支えるケア	講演	2014年12月	女満別ドリーム苑, 北海道	牧野日和	

21.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2014年12月	全国高齢者施設看護師会, 東京	牧野日和	
22.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2014年12月	全国高齢者施設看護師会, 大阪	牧野日和	
23.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年1月	日本語聴覚士協会・基礎講座講師養成研修会, 東京	牧野日和	
24.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年1月	全国高齢者施設看護師会, 仙台	牧野日和	
25.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年1月	全国高齢者施設看護師会, 福岡	牧野日和	
26.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年2月	全国高齢者施設看護師会, 広島	牧野日和	
27.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年3月	全国高齢者施設看護師会, 名古屋	牧野日和	
28.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年3月	全国高齢者施設看護師会, 金沢	牧野日和	
29.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年4月	全国高齢者施設看護師会, 東京	牧野日和	
30.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年4月	全国高齢者施設看護師会, 札幌	牧野日和	
31. 摂食嚥下機能とその獲得	講演	2015年5月	第4回摂食機能障害リハビリカンファレンス, 名古屋	牧野日和	
32.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年5月	全国高齢者施設看護師会, 鹿児島	牧野日和	
33.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年5月	全国高齢者施設看護師会, 神戸	牧野日和	
34. 死んでもいいから焼き肉が食べたいHさんへの支援 「リスクマネジメント」から「クオリティマネジメント」へ	講演	2015年5月	第6回日本訪問リハビリテーション協会学術大会, 大阪	牧野日和	
35.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年6月	全国高齢者施設看護師会, 福岡	牧野日和	
36. 摂食嚥下基礎研究	座長	2015年6月	第16回日本語聴覚学会総会・学術大会, 仙台	牧野日和	
37. 職種間連携	講演	2015年6月	日本語聴覚士協会・基礎講座4, 仙台	牧野日和	
38. 食べる機能を引き出す介助・ダメにする介助	講演	2015年7月	全国高齢者施設看護師会, 福岡	牧野日和	
39.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年7月	全国高齢者施設看護師会, 大阪	牧野日和	
40.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年7月	全国高齢者施設看護師会, 埼玉	牧野日和	
41. 最期まで口から食べるを支えるケア	講演	2015年7月	社会福祉法人 FIG 会 研修会, 広島	牧野日和	
42. 最期まで口から食べるを支えるケア	講演	2015年8月	社会福祉法人清水会, 愛知	牧野日和	
43. 最期まで口から食べるを支えるケア	講演	2015年8月	独立行政法人地域医療機能推進機構四日市羽津医療センター, 三重	牧野日和	
44.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年8月	全国高齢者施設看護師会, 仙台	牧野日和	
45.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年8月	全国高齢者施設看護師会, 横浜	牧野日和	
46.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年8月	全国高齢者施設看護師会, 名古屋	牧野日和	

47.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年9月	全国高齢者施設看護師会, 岩手	牧野日和	
48.「口から食べる」を支えるケア	講演	2015年9月	NPO 法人地域の応援えがお, 愛知	牧野日和	
49. 食べるを支える嚥下調整食と支援法	講演	2015年9月	NPO 法人地域の応援えがお, 愛知	牧野日和	
50. 最期まで口から食べたい – お食い締めの実践 –	講演	2015年9月	第10回西宮市薬剤師会シンポジウム, 兵庫	牧野日和	
51. 口から食べるを支えるケア	講演	2015年9月	西宮福祉用具体験会, 兵庫	牧野日和	
52. 食べるを支える嚥下調整食と支援法	講演	2015年9月	社会福祉法人清水会, 愛知	牧野日和	
53. 多職種で支える摂食・嚥下ケア – 「お食い締め」最期に食べたい物はなんですか –	講演	2015年9月	第10回福祉機器展, 熊本	牧野日和	
54.「むせこみ」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2015年9月	全国高齢者施設看護師会, 愛媛	牧野日和	
55. 口から食べる支援を成功させるコツ	講演	2015年9月	株式会社ふくなおスピノフセミナー, 広島	牧野日和	
56. 口から食べる支援を成功させるコツ	講演	2015年9月	株式会社ふくなおスピノフセミナー, 大阪	牧野日和	
57. 口から食べる支援を成功させるコツ	講演	2015年9月	株式会社ふくなおスピノフセミナー, 東京	牧野日和	

山本正彦

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Potential therapeutic targets in polyglutamine – mediated diseases	共著	2014年10月	Expert Rev Neurother.14(10)	Katsuno M, Watanabe H, Yamamoto M, Sobue G.	pp.1215 – 28
2. Pioglitazone suppresses neuronal and muscular degeneration caused by polyglutamine – expanded androgen receptors.	共著	2015年1月	Hum Mol Genet.15;24 (2)	Iida M, Katsuno M, Nakatsuji H, Adachi H, Kondo N, Miyazaki Y, Tohnai G, Ikenaka K, Watanabe H, Yamamoto M, Kishida K, Sobue G.	pp.314 – 29

3. Distinct phenotypes of speech and voice disorders in Parkinson's disease after subthalamic nucleus deep brain stimulation	共著	2015年 1月	J Neurol Neurosurg Psychiatry.86(8)	Tsuboi T, Watanabe H, Tanaka Y, Ohdake R, Yoneyama N, Hara K, Nakamura R, Watanabe H, Senda J, Atsuta N, Ito M, Hirayama M, <u>Yamamoto M</u> , Fujimoto Y, Kajita Y, Wakabayashi T, Sobue G.	pp.856 - 64
4.口腔ケアによる口腔状態の改善効果に関する研究(第4報) 専門的口腔ケアの効果について	共著	2015年 3月	心身科学7巻1号	牧野日和, 早川純子, 古川博雄, 辰巳 寛, <u>山本正彦</u>	pp.85 - 9
5.超皮質性感覚失語における喚語機能に関する縦断的研究 名詞・動詞の能力乖離について	共著	2015年 3月	心身科学7巻1号	木村 航, 辰巳 寛, <u>山本正彦</u> , 黒崎芳子	pp.1 - 8
6. Voice Features of Parkinson's Disease Patients Who Have Undergone Subthalamic Nucleus Deep Brain Stimulation	共著	2015年 5月	J Neurol.262(5)	Tanaka Y, Tsuboi T, Watanabe H, Kajita Y, Fujimoto Y, Oodake R, Yoneyama T, Masuda M, Hara K, Senda J, Ito M, Atsuta N, Horiguchi T, <u>Yamamoto M</u> , Sobue G	pp.1173 - 81
7. A functional scale for spinal and bulbar muscular atrophy: Cross - sectional and longitudinal study.	共著	2015年 7月	Neuromuscul Disord.25(7)	Hashizume A, Katsuno M, Suzuki K, Banno H, Suga N, Mano T, Araki A, Hijikata Y, Grunseich C, Kokkinis A, Hirakawa A, Watanabe H, <u>Yamamoto M</u> , Fischbeck KH, Sobue G.	pp.554 - 62

8. Characteristic laryngoscopic findings in Parkinson's disease patients after subthalamic nucleus deep brain stimulation and its correlation with voice disorder.	共著	2015年 8月	J Neural Transm.	Tsuboi T, Watanabe H, Tanaka Y, Ohdake R, Yoneyama N, Hara K, Ito M, Hirayama M, Yamamoto M, Fujimoto Y, Kajita Y, Wakabayashi T, Sobue G.	Epub
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. Clinical characteristics of dysarthria in SBMA	学会発表	2015年 5月	第56回日本神経学会学術大会, 新潟	田中誠也, 坂野晴彦, 勝野雅央, 鈴木啓介, 橋詰 淳, 土方靖浩, 山田晋一郎, 山本正彦, 祖父江元	
2. 摂食嚥下障害領域の養成教育に関する研究 愛知学院大学学生への意識調査, 講義や実習がもたらす影響	学会発表	2015年 6月	第16回日本言語聴覚学会, 仙台	牧野日和, 早川統子, 瀬戸千尋, 小林季実子, 植田千里, 山本正彦	
3. 舌癌周術期における構音障害に対するリハビリテーション	学会発表	2015年 6月	第39回日本頭頸部癌学会 / 第4回アジア頭頸部癌学会, 神戸	高津淳, 長谷川泰久, 中多祐介, 向山宣昭, 都築秀典, 澤部 倫, 的場拓磨, 寺田星乃, 高野 学, 山本正彦	
4. VCFS 患者の言語治療に関する報告 第9報 口腔領域先天異常・言語症状と全身疾患との関連	学会発表	2015年 7月	第55回日本先天異常学会学術集会 / 第38回日本小児遺伝学会学術集会, 横浜	早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 山本正彦, 牧野日和, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 井村英人, 山内楓子, 森 明弘, 鈴木 聡, 大野磨弥, 佐久間千里, 江尻晃啓, 中原晋一, 夏目長門	
5. 口唇口蓋裂患者とその家族に対する遺伝カウンセリングの現状 第5報 出生前カウンセリングについて	学会発表	2015年 7月	第55回日本先天異常学会学術集会 / 第38回日本小児遺伝学会学術集会, 横浜	井村英人, 夏目長門, 山本正彦, 鈴木聡, 藤原久美子, 大野磨弥, 佐久間千里, 早川統子	
6. 視床下核脳深部刺激術後のパーキンソン病患者の構音動態	学会発表	2015年10月	第60回日本音声言語医学会総会・学術大会, 名古屋	田中康博, 渡辺宏久, 坪井崇, 大嶽れい子, 藤本保志, 伊藤瑞規, 榊田道人, 今井和憲, 原 一洋, 梶田泰一, 山本正彦, 勝野雅央, 祖父江元	
7. 舌癌周術期における構音障害に対するリハビリテーション効果	学会発表	2015年10月	第60回日本音声言語医学会総会・学術大会, 名古屋	高津淳, 田中康博, 田中誠也, 長谷川泰久, 山本正彦	

渡辺輝也

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.平成25・26年度子どもの体力向上運動プログラム「小学校高学年向け」	共著	2015年3月	愛知県教育委員会	森 勇示, 渡部琢也, 渡辺輝也ほか(全19名)	pp.1-42
2.新しい走・跳・投の授業づくり 私のお薦め手作り教具①:高さを自由に変えられる手作りハードル(再掲)	共著	2015年6月	大修館書店	池田延行, 岩田靖, 日野克博, 細越淳二	p.11
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1.「巧みな動きを高めるための運動」の授業づくり	単著	2015年1月	愛知県教育委員会, 平成26年度 子どもの体力向上運動プログラム実技講習会【尾張】配布資料		pp.2-4
2.高さを自由に変えられる手作りハードル	単著	2015年3月	体育科教育. 63巻3号		pp.44-45
3.「子どもの体力向上運動プログラム」のご紹介	単著	2015年8月	愛知県教育委員会, 子どもスポーツふれあい事業【豊川】配布資料		pp.1-2
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1.平成26年度 子どもの体力向上運動プログラム実技講習会【尾張】	講習会講師	2015年1月	愛知県教育委員会, 春日井	渡辺輝也	
2.子どもスポーツふれあい事業【豊川】	講習会講師	2015年7月	愛知県教育委員会, 豊川	渡辺輝也	
3. Origins of the faulty movements in the learning process of the flop technique: a qualitative study	学会発表	2015年8月	International Scientific Conference "Motor Ability in Sports-Theoretical Assumptions and Practical Implications", Krakow (Poland)	Teruya Watanabe	